

◆ 今週のコメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は8.73で、過去5年平均値(7.20)を上回る値となっており、4週連続で増加しています。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.61で、過去5年平均値(0.77)を上回る値となっています。第6週以降増加しており、本年度で最も多い値となっています。行政区別にみると、特に南区(5.67)、西京区(5.00)で多くなっています。
- ・ アメーバ赤痢の報告が1例で、本年度の累積報告数は7例です。過去8年間(平成13年～19年)の同時期(0～6例)と比べて、最も多くなっています。病型別にみると、腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症1例で、推定感染地域はすべて国内、推定感染経路は、性行為感染 6例(同性2例、異性4例)、不明1例となっています。
- ・ 梅毒の報告が1例で、本年初めての報告です。

◆ 今週のトピックス:<麻しん>

- ・ 本年度の累積報告数は8例となっており、推移をみると、本市では第9週、第10週と報告があり、全国では第5週以降多い状態が継続していますので、今後の動向にもご注意ください。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 なし
【1月以降の累積報告数 60例(喀痰塗抹陽性 15例, 無症状病原体保有者 6例)】
- ・ 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例
- ・ 五類:梅毒(晩期顕症梅毒) 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	1.41	96
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	8.73	358
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.61	66
	③ 水痘	0.68	28
	④ 手足口病	0.59	24
	⑤ 突発性発しん	0.37	15
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP, 糞便をFC, 髄液をSF, 尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
インフルエンザウイルス AH1型(2)	インフルエンザ(第9週) かぜ症候群(第8週)	NP	インフルエンザウイルス C型(1)	かぜ症候群(第7週)	NP

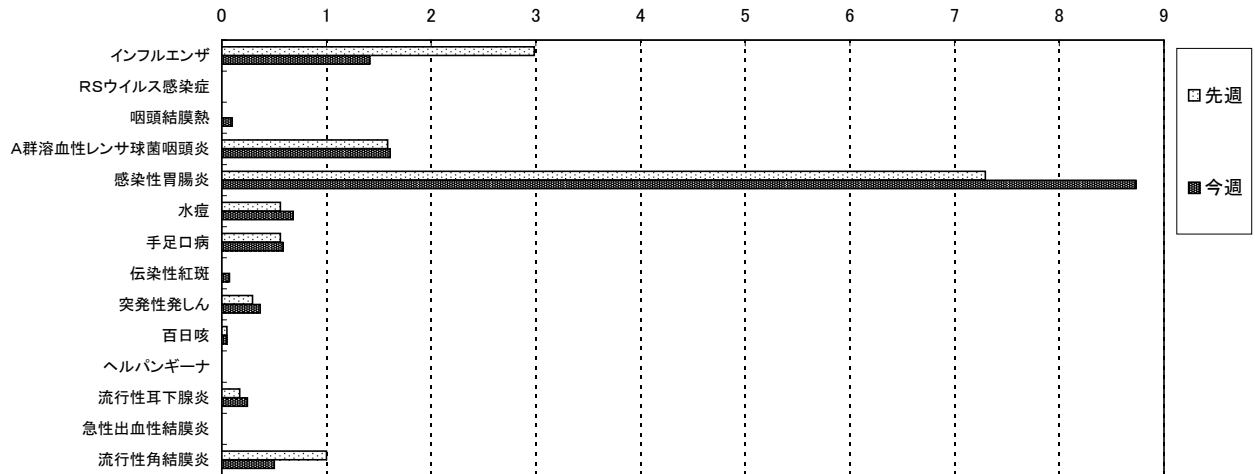
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<麻しん>

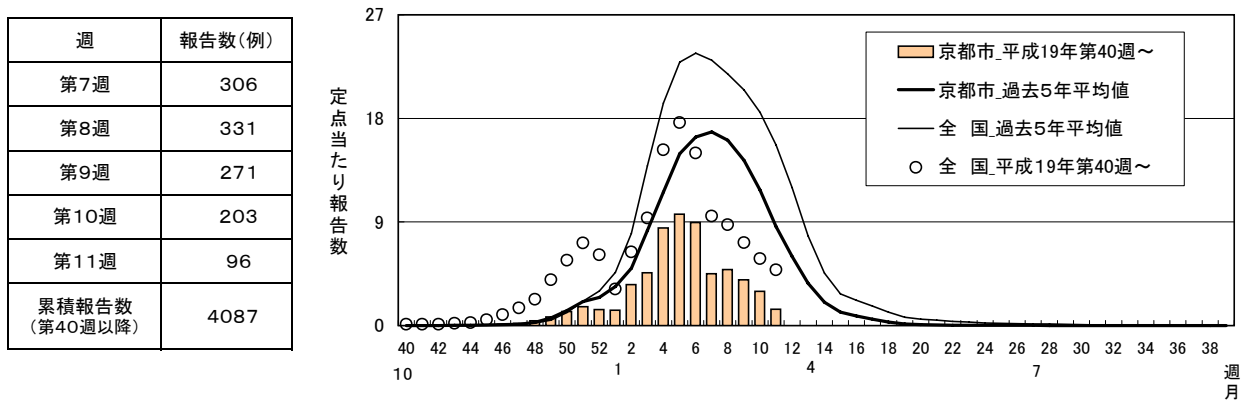
(注)京都市のデータは、平成20年3月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第11週)と先週(第10週)の定点当たり報告数の比較

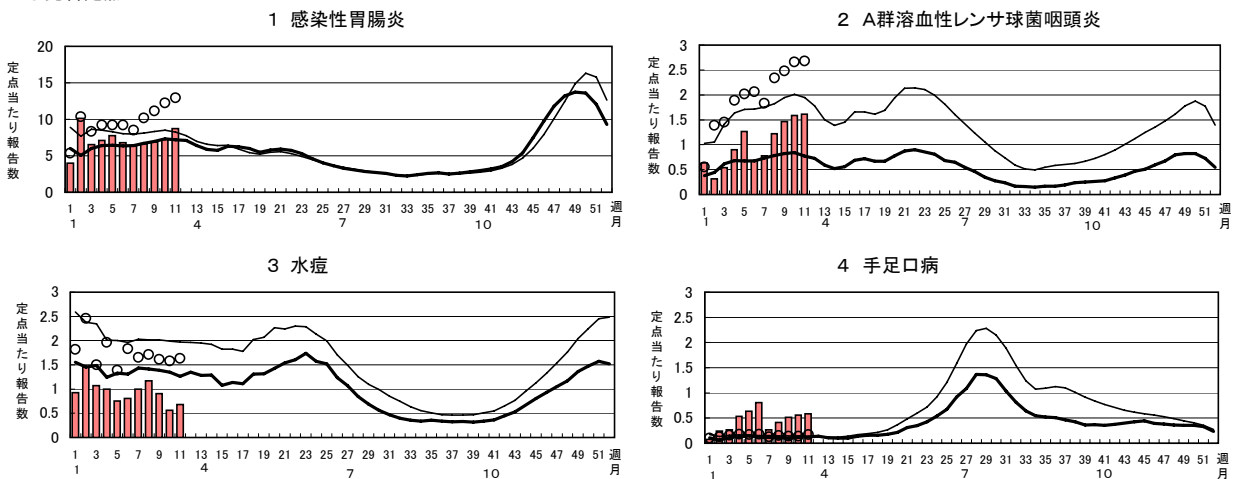


2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

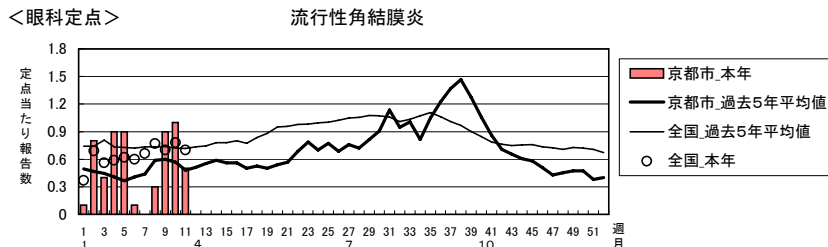


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第11週)のトピックス:〈麻しん〉

本年の累積報告数は、8例となっています。

推移をみると、本市では第9週、第10週と報告があり、全国では第5週以降多い状態が継続していますので、今後の動向にご注意ください。

年齢群別構成割合では、本市では、10歳代が8例中、4例と多くなっています。全国では、10歳代が44.0%と最も多くなっており、内訳は、15～19歳が24.5%、10～14歳が19.5%となっています。また、20歳代は24.0%、9歳以下は21.4%を占めています。

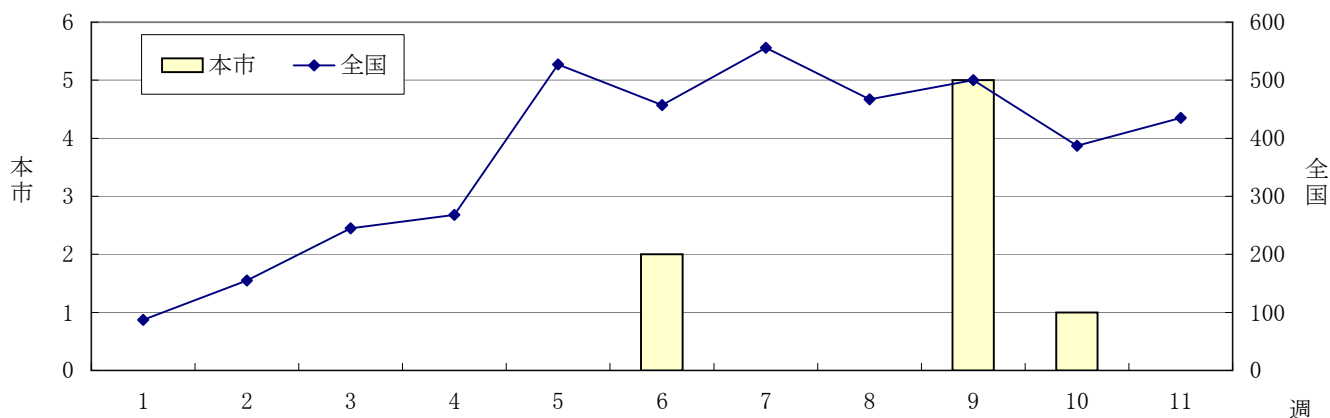
ワクチン接種の有無は、本市では、10歳代の3例及び9歳以下の1例が接種無しで、他は不明となっており、全国では10歳代までは接種無しが多く、20歳代以降、不明が多くなっています。

【予防接種について】

昨春の高校や大学等での麻しん流行の理由として、「従来の1回接種では免疫を獲得できなかった」、「ワクチン未接種であった」こと等が考えられています。そこで、本市では、予防接種協力医療機関において、平成20年4月から24年度までの5年間にわたり、年度内に13歳又は18歳になる方を対象に、MRワクチンの接種を無料で実施することとなりました。

なお、1歳児と、小学校入学前年度の1年間(4/1～3/31)の児童についても、引き続きMRワクチンの接種を実施いたします。地域医療課のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

本市及び全国の推移



本市の第1～11週までの累積(n=8)

性別	男 4, 女 4
年齢	9歳以下 1, 10歳代 4, 20歳代 1, 30歳代 1, 40歳代 1
病型	麻しん:臨床診断例 4, 検査診断例 3 修飾麻しん:検査診断例 1
ワクチン 接種の有無	無し 4, 不明 4

全国の年齢群別構成割合(第1～11週までの累積)

